

三つの坂

明けましておめでとうございます。

年頭より私事で恐縮ですが、私が高校生だった今から半世紀近い前の恩師の言葉を時々思い出します。山歩きの時の話、「苦しかった。振り向くと登り坂だった。」「楽だった。振り向くと下り坂だった。」。まさにその通りで、努力を怠るなという教訓であるわけですが、まじめにコツコツと同じことをやっているだけではうまくいかない場合もあることを感じる人が多い昨今です。

2つの坂に加えて、「まさか」という坂があることを思い知らされた、一昨年の箱根大涌谷の事象から昨年末の米国大統領選挙までの世界各地での出来事でした。政治でも経済でも自然災害でも、これからももっと予想もしなかったことが起こってくると覚悟したほうがよさそうです。

そんな経営のかじ取りが難しい今だからこそ、地域の暮らしを下支えする地域経済の担い手である3,300余の会員企業の経営の安定化と活発化に資することを責務とするわが小田原箱根商工会議所の役割はますます大きいと改めて強く感じております。今年も「議論して 行動して 結果を問う」商工会議所を目指し、邁進してまいります。

酉年とは、機が熟し、ものが実る年と聞きました。ちょっと期待しつつ、「まさか」にも備えながら、苦しくても「のぼりざか」をこつこつと歩む、そんな堅実な一年にしたいと心新たにしております。

会員の皆さまの商売繁盛と、ご家族、社員の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

会頭 鈴木悌介。